

# 国際シンポジウム 「トラウマ・インフォームド・ケア」

## プログラム

### 1. Sandra L.Bloom, M.D. (米国)

Drexel University School of Public Health の Associate Professor。1980年代から米国においてトラウマインフォームドケアに取り組み、トラウマの支援現場でこそ起こりうる「再トラウマ」の理解と、それを予防する『安全・安心な期間作り』をベースとする「Sanctuary Model」を提唱した方です。

シンポジウムでは、トラウマインフォームドケアのベーシックなお話をさせていただく予定です。  
(約 50 分)

### 2. Melissa K.Runyon, Ph.D. (米国)

TF-CBT の開発者の一人である Deblinger 博士に師事。Rowan University- School of Osteopathic Medicine の 精神科教授をされていましたが、2015 年からは独立して、PLLC Training and Consultant Services の所有者であり、有資格の臨床心理士です。TF-CBT をベースにした虐待加害親への対応プログラムである「Combined Parent-Child Cognitive Behavioral Therapy (CPC-CBT)」の開発者です。

シンポジウムでは、加害親-子へのトラウマインフォームドケア(子どものケアのためには家族に対してもトラウマインフォームドな介入が必要であるという趣旨)についてお話しいただく予定です。  
(約 50 分)

### 3. Tan Li Jen(シンガポール)

シンガポール家族社会開発省(MSF)の臨床司法心理サービス部門の上級首席臨床心理士兼副部長です。TF-CBTをはじめ、PE療法、EMDR、CPTなどの効果が実証された治療法の訓練を受け、子どもから成人のトラウマを有する人たちの支援に20年以上関わっています。また、MSFの被虐待児のためのトラウマ回復センターや、児童保護及び福祉システムにおけるトラウマインフォームドサービスの提供を統括しています。

シンポジウムでは、シンガポールにおけるトラウマインフォームドケアについてお話しいただきます。  
(約 50 分)